

# かえる便り 27年度25号

平成27年12月4日

木枯しの季節、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

先日、映画『降りてゆき生き方』が上映されました。保護者の皆様や多くの部員に鑑賞していただきありがとうございました。部員達の反応が知りたく数名に感想を聞いたら“来てよかった”と答えてくれていました。感じ方や気付きは人それぞれでしょうが、彼等は“自ら主体的に何かをする”ことの大切さ、仲間や見知らぬ人への感謝と支える行動等が 人（自分も）を幸せにする ことなどを感じてくれたのではないのでしょうか？



上映後、この映画に携わられた 柴木さん の話を聞き、この映画を作成された人達の“思い”がより鮮明に伝わってきました。見返りを求めないで、本物を追求し、真に人の幸せを考えておられる人々の姿から学び、活かしていきたいものです。

人のお世話にならぬよう 人のお世話をするよう そして報いを求めぬよう（後藤新平）

ラグビー日本代表の 五郎丸選手は、メンタルという目に見えないもの と戦うのが嫌だから、代表のメンタルコーチをシャットアウトしていたそうです。しかし、コーチが『キックに関して積み上げてきたものを 文字で整理してルーティンを築き上げて欲しい』という言葉聞き、それならできると思ったそうです。また、今回のW杯前に、エディー・ジョーンズ（ヘッドコーチ）が 2011年W杯に出場した選手の多くが 当時の心境などを『覚えていない』と言ったそうです。

『“ほんの一握りの選手だけが得られる経験”を 勝ち負けだけで自分の思いから消すのはもったいない』との話を聞き、“その時に思っていること”、“これから何をすべきか” などを正直に日々記すようになったそうです。

“時間 心構え 文字”をどのように活用するかで、人生が変わります。自分の考えや思いを文字にする習慣があれば、必ず良い方向に人生が変わると信じて日々活動して欲しいものです。手紙や試験は文字、面接や会話は言葉 をつかいます。自分の思いをどのように表現するかで、人間関係が変わりますよ！